

一步一步煩惱減除

百八の階段を昇り、悩みや煩い事を取り除きましょう

- 十五段 心配ごとをふやすな
- 十四段 今の頑張りはいつか実る
- 十三段 おいしい話にすぐに飛びつくな

『高尾山健康登山の証』のお勧め
年間約二百八十万人の人々が訪れ、「世界一の登山者の多い山」として知られている高尾山。登山者の皆様の励みになれば、との思いから平成十一年から健康登山を始め、今では約五万人の方々が会員となられております。期限はございませんので、御自分のペースでお楽しみ下さい。

また、一冊に付き二十一回スタンプを押すページがあり、終了したことを満行と言います。満行されますとお祝い膳として精進料理の御接待や、健康登山者限定の記念品などと交換もできます。

帳面……………七百円
スタンプ……………百円

高尾山 季節散歩

暦の言葉
「二十四節気」
霜降「そうこう」
霜降は十月二十三日頃に当り、夜露が凍り、硬い霜になる頃です。秋の涼しさが、次第に冬の寒さへと変わり、山々では紅葉が色付くようになりまます。

この時期には、毛布や暖房を使うことが多くなり、冬の訪れを実感します。

今月の行事
十三夜
十五夜の月に対して「後の月」と呼ばれ、日本では古くから旧暦の九月十三日に、十三夜の月見を行っておりまます。新暦では十月中旬から十一月上旬に当りまます。十三夜にはお供え物の栗や豆が食べごろを迎える事から、「栗名月」や「豆名月」とも呼ばれていまます。

健康登山者投稿作品
私の高尾登山
世田谷区 小林 勲

私が健康登山を始めしたのは平成二十二年の七月です。テレビで放映された高尾山特集を見て始めました。

以来、東日本大震災で高尾山が閑散とした時期も、全山が雪に厚く覆われた時も、暴風で倒木に登山道が塞がれた前後も、月五回のペースを崩さずに登山を続けて来まました。

六年間続けてこられたのには、二つ理由があると思います。一つには、手軽に高尾の自然を満喫できることだと思ひます。お詣りであれば薬王院への参道である一号路、ハイキングを兼ねるのであれば、尾根筋からの稲荷山コースや沢筋の六号路があります。

他にも二つの滝場を巡るルート、薬王院から先を行くコースなどがあります。そうした多様な登山道に四季の変化が加わりますので、高尾山の魅力は尽きません。

二つ目の理由は、私には秘めたるライバルがいる、いや、いたことです。健康登山スタターの間もない四回目と五回目の満行月が同時であった人がいました。

以来暫くの間、一カ月遅れの満行で私の方を追いかける状態が続きました。その状態が崩れたのが二年ほど前です。ライバルはその頃からペースを上げ、現在では登山回数の方が百回以上上回ってしまいました。当初は負けずについて行きたいと思ひましたが、今ではその方の満行の行方を見守る心境になりました。

私はといえれば、夢の千回登山を目指して頑張ります。

被災地早期復興 国土安穩 三社寺合同復興祈願祭

九月十四日

去る九月十四日、大山阿夫利神社と北口本宮富士浅間神社、高尾山薬王院の三社寺は、大山阿夫利神社下社にて、東日本大震災被災地の復興祈願祭を行いました。関係者約七十人が参列されました。

平成二十三年より始まったこの法要は一年毎に営まれており、三社寺による輪番制となっておりまます。

阿夫利神社の目黒宮司齋主のもと行われた祈願祭では、祝詞の奏上や読経が行われる神仏融合の祈りの中、静かに被災地復興を祈る一時となりました。



被災地の早期復興への祈りが捧げられた

民謡流しでギネス世界記録更新 Largest Bon Dance

～最多人数で踊る盆踊り～

八月六日に行われました、「八王子まつり」の催しの一つ、浴衣姿の市民が踊る「民謡流し」で、盆踊り最多人数のギネス世界記録に挑戦し、二千三百三十人のギネス新記録の更新が達成されました。

九月十二日、記録達成の祈願を行った薬王院に、八王子観光協会々長の野影様(写真左)と八王子民謡協会副会長の吉沢トシ子様(写真右)が訪れ、ギネスワールドレコーズジャパン社より届けられた公式認定証を持ち、御本尊様へ御報告されました。



ギネス記録達成の公式認定証を持ち、記録達成の御報告をされた

募金活動御礼と御報告
熊本城復旧のため義援金を託す
九月二日

本年四月に発生しました熊本地震の被害による被災地域復興のため、高尾山では境内に募金箱を設置しており、大勢の御参拝の方々から多大なる御支援を賜りましたこと、謹んで御礼申し上げます。

九月二日、菅谷執事長が八王子市役所を訪れ、石森市長に皆様からお預かり致しました、義援金の目録を手渡されました。

この義援金は、地震で被害を受けた熊本城の復旧のために活用されます。後日、熊本市より届きましたお礼状を、左に掲載させて頂きます。

多くの皆様の心温まる御支援、御協力に重ねて御礼申し上げますと共に、被災地の一日も早い復興を御祈念申し上げます。

お礼状
宗教法人 薬王院 様
拝啓、このたびは熊本城の復旧のために、お心ごもった支援金を賜りまして、心からお礼申し上げます。
このたびの地震により、熊本城は大きな被害を受けましたが、貴院からの温かいご支援を力にして、これから全山一丸となって復興への歩みを進めたいと思ひます。
貴寺ながら、貴院のますますの繁栄を心よりお祈り申し上げ、御礼の言葉に代えさせていただきます。
平成二十八年九月吉日
熊本市長 大西一史 敬具

後日、皆様の心温かい義援金に対し、熊本市からお礼状が届けられました